

読書のすすめ

2023 OCTOBER



銚田二高の図書館にある本
検索はコチラで



せんそうがおわるまで、あと2分



■せんそうがおわるまで、あと2分
ジャック・ゴールドスティン (著)

シンプルなメッセージが深く心に残る絵本です。同じ日に生まれた幼馴染のジュールとジムは、いつもいっしょ。ジュールより2分早く生まれたジムは、いつもジュールより速く強く生きてきました。第一次世界大戦がはじまり、戦争へ行くことになった2人。そして――。



■14歳のヒロシマ
梶本 淑子 (著)

1945年8月6日、私は14歳で被爆した。いま戦争をしている人たちは「何もわかっていない。」平和な世界のために何ができるか。ヒロシマの被爆者が伝えたい戦争と平和のはなし。



■吹奏楽部バンサイ!!
オザワ部長 (著)

2020年におこったコロナ禍において、高校吹奏楽部に関わる学生たちも、さまざまな困難にまみれた。そのとき、京都橘高等学校・東海大学付属高輪台高等学校・水戸女子高等学校・山形県立鶴岡工業高等学校・北海道札幌白石高等学校の各吹奏楽部がどのように乗り越えたかを描いたオムニバスノンフィクションストーリー。



■レーエンデ国物語
多崎 礼 (著)

異なる世界、聖イジョル帝国フェデル城。家に縛られてきた貴族の娘ユリアは英雄の父と旅に出る。呪われた地レーエンデで出会ったのは、琥珀の瞳を持つ寡黙な射手トリスタンだった。

絶賛沸騰の王道ファンタジー！



■木挽町のあだ討ち
永井 紗耶子 (著)

このあだ討ちの「真実」を見破れますか？ミステリー驚きと人間ドラマの感動！



■極楽征夷大將軍
垣根 涼介 (著)

史上最も無能な征夷大將軍やる気なし使命感なし執着なしなぜこんな人間が天下を獲れたのか？



■ハンチバック
市川 沙央 (著)

私の身体は、生き抜いた時間の証として破壊されていく。「本を読むたびに背骨は曲がり肺を潰し喉に孔を穿ち歩いては頭をぶつけ、私の身体は生きるために壊れてきた。」



■リュウジ式至高のレシピ
リュウジ (著)

2020年「料理レシピ本大賞 in Japan」大賞受賞

プロや専門家から見たら「ありえない」作り方。なのに、食べたら「これ世界でいちばんウマいわ」ってなるレシピを形にしました。



■プラスチックの現実と未来へのアイデア
高田 秀重 (著)

プラスチックは、私たちの暮らしを支える必需品です。私たちは、プラスチックに全面依存の毎日を送っているのです。「そのプラスチックが実はとんでもない悪さをしてくれている。」何が起きているか？緊急レポート。今日からできるアイデア満載！／



■できる ChatGPT
清水 理史 (著)

話題の対話型 AI「Chat GPT」の仕組みから基本的な操作、便利な使い方まで1冊で解説。